



防災ヘリによる救助訓練では役場屋上から1人を救出し、村民グラウンドまで搬送しました



久慈消防署普代分署員によるAEDを使った心肺蘇生法訓練



建物火災防御訓練で役場庁舎に放水する消防団員



防災無線で地震津波警報を住民に広報します



津波警報の発令を受け、普代水門を閉鎖する消防団員ら

地震・津波・火災に備え 心を一つに、熱い訓練

村総合防災訓練

いつ、災害が起こっても不思議のない時代。村は過去に津波、山林火災、大洪水など数知れない災害に見舞われました。その教訓は常日ごろから備えること。平成18年9月24日、午前9時。地震、津波、火災などあらゆる災害を想定して、約400人が参加し村総合防災訓練が行われました。消防団、婦人消防協力隊、久慈消防署普代分署員、住民が一丸となって熱い訓練を繰り返し広げました。



災害発生時の情報伝達は重要。役場駐車場に設置された現場指揮本部に各分団が素早く報告



初期消火訓練では住民の皆さんも参加。バケツリレーで模擬ハウスの消火に当たります



おにぎり300個の炊き出し訓練も行われました



火災現場到着の報告をする消防団員



訓練を終え、役場裏駐車場で行われた閉会式。一致団結し村を守る決意を新たにしました